

64列マルチスライスCT検査のご紹介

このたび、当院では最新型CT装置（64列マルチスライスCT）を導入致しました。

マルチスライスCTとは

コンピュータトモグラフィーとは「CT」の正式名称で、コンピュータ解析による断層X線写真のことです。人体に多数の方向からX線を照射し、体の断面を画像化する装置です。

マルチスライスCTでは1度に複数枚の断層画像を撮影することが可能になりました。検出器が複数になったため、より細かな立体画像をとることが可能になりました。

マルチスライスCTの特徴：広範囲の撮影や全身の血管撮影が短時間でできます

マルチスライスCT装置は、今までのCTでは達成できなかった心臓全領域に亘る冠状動脈の撮影や、脳血管領域での微細な血管構造の描出を可能としました。また、今までのCT装置で出来なかった驚異的な撮影時間の短縮と薄いスライス厚での撮影が可能となりました。今までと比べて検査時間が大変短くなることにより、X線の被曝時間が大変短く、患者様の負担軽減になります。またデータ処理により立体的な三次元画像(3D)を作成観察することができますので、僅かな病変を見逃すこともなくなります。

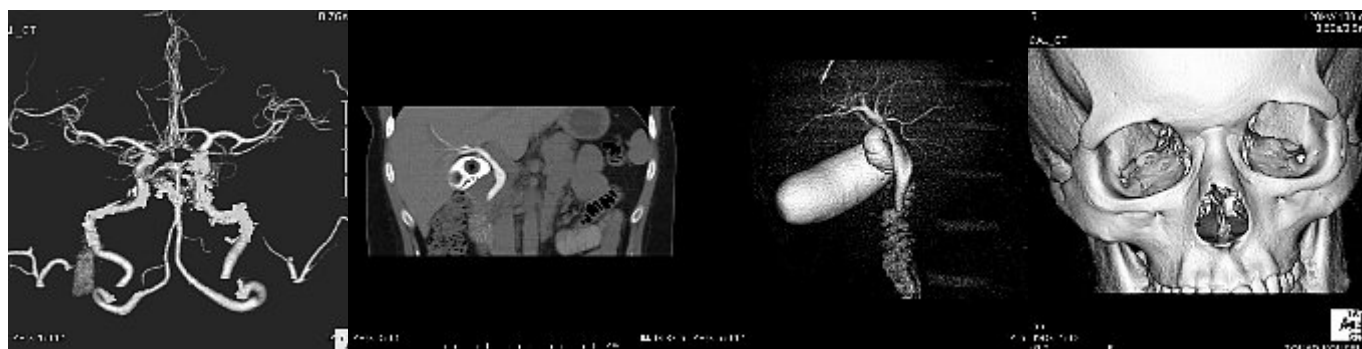


体幹部

体幹部

腹部腫加脈

下肢腫加脈



頭部血管

胆嚢造影

胆嚢造影 3D表示

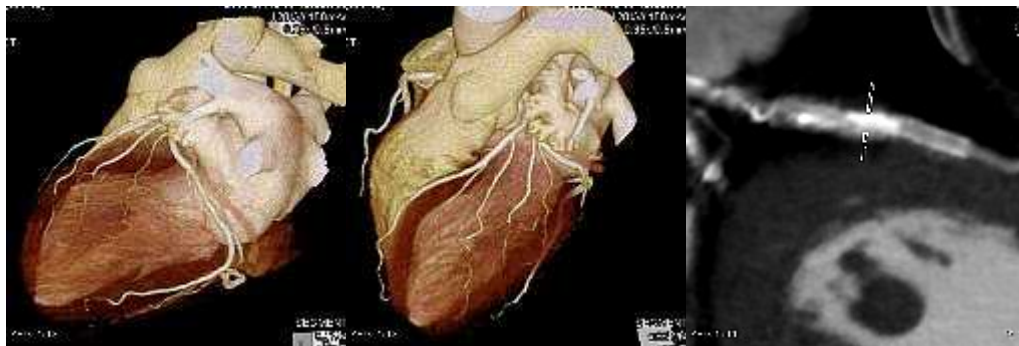
顔面骨

カテーテル検査なしで心臓を描出することが可能となりました

心臓カテーテル検査なしで動いている(心拍)心臓の冠動脈撮影が可能となりました。

患者様は寝台に寝ているだけでよく、約10秒の撮影時間の間息止めをしていただければ結構です。(前処置等を除く)

また、ステント留置、バイパス手術後のフォローアップ検査として大変有効で、ステントの開存状態まで見る事が可能です。



心臓(冠動脈)

心臓(冠動脈)

冠動脈(ステント)

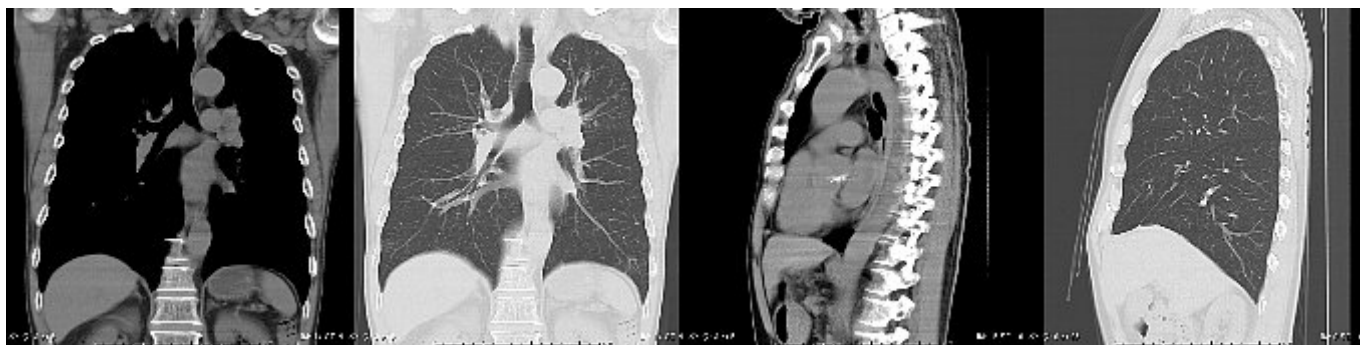
肺がん検査にマルチスライスCTは威力を発揮します

「肺がん」検査については、通常の胸部X線による健康診断だけでは早期発見が難しいとされておりました。マルチスライスCTによる検査では、これまでの胸部X線では映らなかった初期のガンまで発見出来るようになります。マルチスライスCTによる胸部(肺)撮影では微細な病変までも描出することが可能です。特に胸部単純X線検査と比較して次のようなメリットがあります。

1)直径数ミリの小さい病変までも描出することが可能です。

2)いろいろな角度から撮影するので死角がほとんどありません。また、見間違うこともありません。

肺癌の他、肺気腫、炎症、肺以外の病変などの診断も可能です。

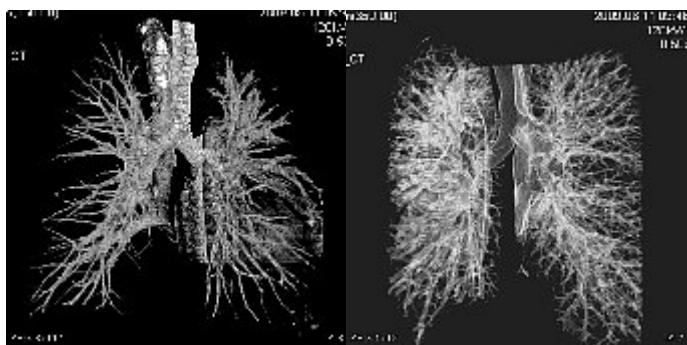


胸部 縦隔条件

胸部 肺野条件

胸部 縦隔条件

胸部 肺野条件



気管支

肺胞

CT検査の流れについてご説明いたします

CT検査方法

検査方法には以下の2種類があります。

1) 単純CT

造影剤という薬を使用しない検査です。あお向けになって目的の部位を撮影する方法です。

2) 造影CT

造影剤を静脈注射して撮影する検査です。造影剤は病変をより鮮明にするために、またその性質を知るために用いられる医薬品です。

食事・薬

- 1) 造影CTおよび腹部検査の方：午前中に検査がある場合は、朝食をとらないで下さい。
午後には検査のある場合は、昼食をとらないで下さい。
水やお茶などは飲んでかまいませんが、同じ日に他の検査も受けられる方にご注意下さい。
服用中のお薬については、医師からの指示がない限り通常通り服用して下さい。
- 2) 単純CT（腹部CTを除く）：食事制限はありません。

来院時間

検査予約時間の15分前までに来院して下さい。（心：冠動脈検査の方は1時間前までに御来院ください）
外来受付に予約票と診察券を直接、事務職員へお渡しください。
遅れる場合は病院に連絡していただくと助かります。
遅れると当日中に検査出来ないことがあります。キャンセルの場合はなるべく早めにご連絡下さい。

査前の準備

造影CTの場合：血圧を測定してから血管確保のための点滴をします。
着替えが必要な場合は検査着に着替えていただきます
単純CTの場合：必要があれば検査着に着替えていただきます
以下のものは検査前にはずしていただきます。
金具の付いた下着、カツラ、ヘアピン、アクセサリ、補聴器、エレキバン、カイロなど
妊娠している方、またその可能性のある方は事前にお申し出下さい。
アレルギーのある方（喘息・薬等）以前にこの検査で気分の悪くなられた方は、事前にお申し出下さい

検査中

検査中に身体や手足が動くと画像がボケますので、動かないように注意して下さい。
造影CTの場合は造影剤を点滴から注入しながら撮影を行います。
検査中はマイクを通して会話が可能です。途中で気分が悪くなったらお申し出下さい。
検査時間は通常5～15分で終了いたします。

検査後

造影CTの場合は点滴が終わるまで待合室にて休んでいただきます。
食事は普通にお取り下さい。
造影剤は尿として排泄されます。排泄を促進させるために、水分を多めにお取り下さい。
まれに、検査終了後数時間から数日後に、頭痛・吐き気・かゆみ・蕁麻疹などの症状があらわれることがあります。何か症状が見られましたら、ご連絡下さい